



第2回「あけぼの」会 (2002/05/02)

## 東北大「あけぼの」データベース計画

熊本（電磁気）、吉田、平野（惑星大気）、三好（PPARC）

### contents:

1. データベースのコンセプト
2. webによるSDB-QL
3. MGFデータベース計画
4. 今後の展開

### 1. データベースのコンセプト

メインコンセプトは、“「あけぼの」データへのアクセスを容易にして、みんなで積極的に活用していきましょう！”

「あけぼの」衛星は、

- \* 「場」、「波動」、「粒子」、「イメージ」の豊富な観測器を持ち、
- \* かつて、例がないほどの超長期（13年）の連続観測を続け、
- \* さらに、極域から内部磁気圏まで網羅している、

非常に重要なデータを提供し続けている。

「あけぼの」データの精緻な解析を行う研究に用いられる一方で、非常に多種類のデータの中から、とりあえずモニター的にあけぼのデータを使用するケースも増えつつある（例：プラズマポーズの位置が知りたいとか）。

しかしながら、「あけぼの」データは（SDB含む）、とりあえずプロットするにしても結構手間であり、さらにデータの見方がいまいちよく解らないといった状況が往々にして起こる。

そこで、

- \* 「あけぼの」データの quick look を簡単に見ることができる
- \* SDBレベルのアスキーデータへのアクセスを簡単にする

という点を、東北大グループで使いやすい形で共有することを目的として、データベース計画をはじめました。



## 2. web による SDB-QL

電磁気学講座の PC-UNIX に、「あけぼの」会 メインのホームページをたちあげていただいています。

<http://callisto.ppp.geophys.tohoku.ac.jp/~akebono>

内容：

### + 各データの quick look

(共通フォーマットによる時系列データを画像でアーカイブ)

### + アスキーデータ取得

(web 上でのアスキーデータ取得、

Fortran、C での SDB バイナリ読み出しサンプルプログラム)

### + SDB

(cgi による SDB データの表示)

## 3. MGF データベース計画

(平野さん、レジュメ)

## 4. 今後の展開

\* グループの誰もが、データにアクセス可能

\* グループの誰もが、システムの構築にかかわっていける

ということをベースにしながら、ホームページをよりアクセスさせやすい形に拡充させていく。

具体的には、

1. 各観測器の QL、アスキーデータ取得部の整備
2. より使いやすいシステム、ニーズの多いシステムへの指向、発展的拡大
3. データユーザー間の積極的ディスカッション

みんなで使っていきましょう！